

児童発達支援 コモド福井
2024 年度 自己評価表

1. 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）
2. 事業所における自己評価表（児童発達支援）

公表：令和7年1月12日

事業所名 児童発達支援 コモド福井 保護者等数（児童数） 10人(11人) 回収数 9人 割合 90 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1			・利用人数が少ないので身体を動かす活動の時は少し狭そうに見えた。	ご意見ありがとうございます。室内の運動遊びの際には、机や椅子の配置を変えたり、身体を大きく動かせるよう利用児さんの人数分ける等を工夫しております。引き続き活動スペースがとれるよう、室内の使い方や活動内容を見直し、より良い環境を提供できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9				・手厚いので安心できます。	ご意見ありがとうございます。利用児さんの人数に合わせた職員の配置を行っております。また、職員の質の向上のため、定期的に研修を行っております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境（※1）になっているか。	9					今後も引き続き、お子さんにとってわかりやすい室内環境となるよう、工夫をしながら療育を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1			・もう少し掃除をしてもらいたいと思います	ご意見ありがとうございます。毎日の清掃で、お子さんにとって気持ちの良い空間となるよう清潔を保ち、整理整頓を心がけていきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（※2）が作成されているか	9					今後ご家庭と連携を取り、時に専門家の意見も交えながら、支援計画の立案に努めていきます。
	6 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				・定期的に、子どもの発達に対する相談会があり、日頃の悩み等を相談できるので、大変助かっています。 具体的にわかりやすいので家でも実践しやすいです。	ご意見ありがとうございます。療育を担当する職員と共通認識をもち、支援計画の内容はもとより、ガイドラインの内容も踏まえた支援内容(活動内容)となるよう、取り組んでいるところです。今後もお子様やご家族の皆様へ寄り添った支援を継続できるよう努めてまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					今後も職員間で常に情報を共有し、お子様び合わせた支援計画を作成し、支援内容の取りこぼしが無いよう運営してまいります。
	8 活動プログラム（※3）が固定化しないよう工夫されているか	9					複数の職員が異なる視点から活動の立案を行い、都度振り返りや改善を行って、お子さんたちが楽しめる遊びの提供により、発達を促しているところです。

保護者への説明等	9	保育所や認定こども園、幼稚園等と利用児童に関する情報を共有しているか。	8			1	・どの程度、情報を共有したり会話をしているかわかりません。	ご意見ありがとうございます。保育園のお子さんに関しては、保育園送迎の際に先生方とコミュニケーションをとっています。また、幼稚園に通っているお子さんに関しては、お電話による互いの施設でのお子さんの様子の交流や、支援内容の把握をしています。保育園、幼稚園どちらも、必要に応じて直接交流を行い、連携を深める手立てを行っています。	
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					契約の際に行っています。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	9					契約、個人面談の際にご説明しています。	
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	8	1			・その都度様子を伝えてくれるのでほめる材料になっている。 ・ノートでのやり取りになりますが、ある程度、出来ているのかな、と思います。	ご意見ありがとうございます。連絡ノートを活用し、日々の療育の様子を文章や写真にてお知らせ、また送迎の際に直接お話をしています。ご家庭のご意向やお考えをお聞きし、支援に取り入れることを大切に行っています。	
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9					ノートや電話、メールでいただくご相談には、わかりやすい方法でお返事を行い、面談をご希望されるご家庭は面談を、またその際には専門家の方に同席のご希望があれば同席していただくなど、ケースに応じて柔軟に対応しています。また、面談以外にも参観日や保護者会、親子通所日を通し保護者の皆さまと直接お話しする機会を設けています。	
	14	保護者会や参観療育等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられているか	9					年に1回保護者会を開き、保護者同士の交流、心理士・ペアレントメンターの方との交流の機会を設けております。また、年に2回ずつ行っている参観日と親子通所日も保護者同士の交流の機会としております。今後も皆様のご意見を取り入れ交流の場を設けていきます。	
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8				1	・快く聞き入れてもらえるので相談しやすいです。	ご意見ありがとうございます。より良い支援のため、お子様や保護者の方からのご意見を大切にしています。今後も職員間の連携を取り、ご家庭や幼稚園・保育園とお子様のご様子などを共有し、対応・療育を行って参ります。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					連絡ノートの活用やメールや電話でのやりとり、送迎時の対話など、保護者の皆さまが利用しやすい手段で、情報伝達、ご相談等いただけるようにしています。	

	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9					月に一度通信を発行し、日々の活動の様子や目的などをお伝えしています。載せきれない日々の様子はインスタグラム等のSNSの活用により発信しております。	
	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9					引き続き、全職員が十分に注意を払い業務にあたっております。	
非常時の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5			4		契約時にマニュアルの提示をしたり、毎月の通信への記載により周知しています。今後、説明方法や提示方法などをさらに見直してまいります。	
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9					年に3回、午前利用児、午後利用児、終日利用児を対象に訓練を行い、反省と振り返りを全職員が出席する職員会議内で行ってまいります。	
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1				・毎回楽しみにしており、できごとを伝えてくれています。 ・福井の先生には本当によくしていただいています。子供も毎回行くのを楽しみにしています。面談の時わかりやすく子供の事を思ってくださいているのが伝わってきます!!福井さんに通うようになり、言葉や発語も大変よくなりました!!心から感謝でいっぱいです!!今後ともよろしく願いいたします。 ・楽しみにしている日もあれば、時々嫌そうな日もあります。	ご意見ありがとうございます。引き続き、お子様にとって「楽しい」「やってみよう」と思える場となるよう、常にお子様へ寄り添い、より良い療育を提供できるよう活動内容の工夫をしていきます。
	22	事業所の支援に満足しているか	8	1				・とても満足しています!いつもありがとうございます。 ・優しい先生達にみていてだけで、とても感謝しています。 ・満足していますが、もう少し大きい集団でのやり取りも出来たら良いな、と思います。	ご意見ありがとうございます。その時々状況や季節に合った様々な活動の中で、楽しみながら個々の課題をクリアしていけるよう今後も支援内容を考えてまいります。また、研修等で職員のスキルアップを図り支援の質の向上を目指します。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和7年1月12日

事業所名

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			午前と午後で定員を分割、状況に応じて部屋を分けたり、室内と戸外での活動に分ける等の工夫を行っています。また、集団、小集団、個別のスペースと構造化し、その時々のお子さんの状態に合わせて活動ができるよう工夫しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○			子どもの人数に合わせた職員の配置を行っております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			通っているお子様たちの様子に合わせて、視覚支援を取り入れながらわかりやすい環境になるよう配慮しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			業務終了後に室内清掃、消毒作業を行い整理整頓に努めています。午前、午後とも療育終了後に使った玩具や療育道具、室内消毒を行い、清潔な環境で活動を行えるようにしています。また、活動に合わせて空間を変え、環境調整を行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員全員で常に情報を交換し、改善・実践をしています。また毎月会議・研修の実施を行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			日々のご意見やアンケートを元に業務改善、見直しを行っております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年ホームページにて公開しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				外部評価は行っていませんが、区の児童発達センターの職員さんの定期訪問や、機関支援先の職員の方々に療育の様子を直接見ていただき、評価やアドバイスをいただいております。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の事業所等の研修など、様々な研修に参加しています。また、月に1度職員研修を行い情報共有やスキルアップの機会としています。	
適切な	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			全職員からアセスメントを取り、偏った視点にならないよう、配慮しています。支援計画を作成する際にはそのアセスメントをもとに立案し、保護者のニーズにどこからアプローチできるのかを職員で話し考えて作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全職員が共通のシートで、項目に沿ってお子さんのアセスメントを行っています。	

支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインの周知、その内容が支援計画と活動に盛り込まれるように工夫しています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			全職員が連携をとり、支援内容に沿った療育ができるよう取り組んでいます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			主に担当職員が立てていますが、日々のお子様の様子などは常に職員間で共有し意見を出し合ったり相談しながら立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			室内活動、戸外活動、買い物等の体験活動、季節に合わせた行事の設定や、野菜の栽培や収穫、就学を見据えた活動等を担当職員が日替わりで立案し偏ったり固定化しないよう工夫しながら行っています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			お子さんの状況に合わせて、個別、小集団、集団、と柔軟に対応できるような計画を立てています	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日朝礼を行い全員で確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終礼にて一日の振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育後に一人ひとりの記録を取り、次の支援に向けて振り返りをしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度必ずモニタリングを行い、職員会議で支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			お子様や保護者の状況に合わせて、保健センターや児童家庭相談室、児童相談所、相談室の方たちと情報を共有しながら支援をしています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○		該当児なしの為現状行っていません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○		該当児なしの為現状行っていません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の要望や必要に応じて行っています。	

有との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者の要望や必要に応じて行っています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			区の児童発達センターの職員さんの定期訪問や、機関支援先の職員の方々に療育の様子を直接見ていただき、評価やアドバイスをいただいています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			地域の公園にて、保育園の児と交流したり、児童会館に出向いて地域で遊ぶ機会を設けています。	

	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			地域の子ども部会の研修に参加しました。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時やノートにて常に行い、必要に応じて電話やメール、面談を行っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			家族支援プログラムが何をするかによって変わってきますが、通信にて発達に応じた家庭療育の紹介をしたり、保護者会で講師を招いた講座や相談会を実施しています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			半年に一度の面談時に支援計画のご説明を行い、同意していただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的なものであれば、半年に1回の面談や参観日、親子通所日、保護者会にて行っています。またノートやメール、送迎時にご相談頂いた場合は適宜ご対応させていただきます。	
	35	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会や親子通所日等で年に3回ほど保護者同士でお話するの機会を作っています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			申し入れや相談があった場合はその日のうちに職員間で共有し迅速に対応しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一度通信を発行しお子様の様子や活動を文章と写真でお知らせしています。行事予定や連絡事項も合わせて掲載しています。SNSにて活動内容の発信もしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			職員間で常に意識し気を付けています。通信やSNSに写真を掲載する際にも細心の注意を払っています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お話のしやすい雰囲気作りや傾聴姿勢を常に持ち、寄り添う事を基本理念とし、ノートや送迎時にその日の子どもの様子を詳しく伝えるよう心掛けています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		事業所に招待するなどは現状行っておりませんが地域に向く活動設定を行っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			保護者の方へは契約時に緊急時には各種対応マニュアルに従って対応する事をお伝えし、感染症防止のための嘔吐処理方法の研修や防犯訓練等も実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に行っています。	

43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の こどもの状況を確認しているか	○			確認し職員間で共有しています。	
----	--	---	--	--	-----------------	--

44	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			医師から直接の指示はもらっていませんが、保護者を通し医師の指示をいただき、それに基づき対応しています。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			療育中、送迎中等に問題が起きた際は必ず記録を残し、職員間での共有を図っています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に一度、機会を設けて虐待や身体拘束に関する研修を行っています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現状、必要な児はいらっしゃいませんが、必要になった際には、法令に従って対応をしていきます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。